

令和7年度  
教職課程自己点検・評価報告書

令和8年3月

国立大学法人 東京藝術大学 教職支援センター

## I 教職課程に関する自己点検・評価の実施方針

### (趣旨)

東京藝術大学（以下、「本学」とする）の教職課程の運営にあたり、教育職員免許法施行規則第22条の7および第22条の8において、「認定課程を有する大学は、当該大学における認定課程の教育課程、教育研究実施組織、教育実習並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する」ことが規定されている。

本学では、全学的な教員免許課程の改善および充実を図るため、教職支援センターを設置しており、教職課程の認定を受けている各学部・研究科等と連携のうえ、教職支援センターが自己点検および評価を実施する。

本要項は当該点検・評価の実施にあたっての必要事項を定めるものである。

### (点検・評価方法)

1. 文部科学省の定める「教職課程の自己点検・評価及び全学的に教職課程を実施する組織に関するガイドライン」及び大学機関別認証評価に基づき教職支援センターにて点検・評価項目を策定する。
2. 評価主体は点検・評価項目ごとに客観的な資料やデータを収集し、各評価に定める評価基準に則して当年度の状況を評定する。
3. 評価主体は各点検・評価項目における評定の根拠となる情報を学生課および教職支援センターへ明示し、改善を要する事項については当該学部および研究科へ働きかけを行い、教職課程の質の維持向上に努める。

### (実施時期)

継続性担保を企図し、毎年度の実施を原則とする。

### (実施体制)

1. 各評価事項に記載の通り、本学教職支援センター、学生課、各部局を評価主体として実施する。
2. 点検・評価に係る評価主体への情報収集および資料作成、更新は学生課で行い、成果物の承認は教職支援センターで審議のうえ行うものとする。

### (結果の公表)

当該年度の自己点検・評価結果は教職支援センターでの承認後、すみやかに本学ウェブサイトにて公表し、教職課程運営の可視化および教職課程の質の維持向上に努める。

Ⅱ 令和7年度 東京藝術大学教職課程認定学部・研究科等一覧

学部・研究科等	学科（課程）・専攻等	免許状	免許教科
美術学部	絵画科日本画専攻	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	美術 美術、工芸
	絵画科油画専攻		
	彫刻科		
	工芸科		
	デザイン科		
	建築科		
	芸術学科		
	先端芸術表現科		
音楽学部	作曲科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	音楽 音楽
	声楽科		
	器楽科		
	指揮科		
	邦楽科		
	楽理科		
	音楽環境創造科		
美術研究科	絵画専攻	中学校教諭専修免許状	美術 美術
	彫刻専攻	高等学校教諭専修免許状	
	工芸専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	美術 美術、工芸
	デザイン専攻		
	建築専攻		
	芸術学専攻		
	先端芸術表現専攻		
	文化財保存学専攻		
音楽研究科	作曲専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	音楽 音楽
	声楽専攻		
	オペラ専攻		
	器楽専攻		
	指揮専攻		
	邦楽専攻		
	音楽文化学専攻		

### Ⅲ 教職課程の自己点検・評価結果

#### 1. 教育理念・学修目標

[大学全体レベル]

- 1-1 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画（教員養成を主たる目的とする大学又は学科等の場合は当該目標及び計画に加え「卒業認定・学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」及び「入学者受入れの方針」）の策定状況
- 1-2 養成の目標及び当該目標を達成するための計画の策定プロセス
- 1-3 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の見直しの状況

- 1-1については、「教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること」としてウェブサイト上に公表している。
- 1-2および1-3については、毎学期末に授業評価アンケートを実施し、その結果を教員間で共有することにより、より質の高い養成目標と計画の策定に取り組んでいる。

#### 2. 授業科目・教育課程編成実績

[大学全体レベル]

- 2-1 複数の教職課程を通じた授業科目の共通開設など全学的な教育課程の編成状況
- 2-2 教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備の整備状況

- 2-1については、本学教職支援センターで調整・確認等を行ったうえで、学校や施設での実習を必須とする科目を共通開設している。また、各部局教務係で教職履修相談のサポートを行っている。
- 2-2については、実技授業に使用できるアトリエ・工房、レッスン室・ホールを完備しており、また教材についてもイーゼル・窯やリコーダー・鍵盤ハーモニカ、箏なども多数用意している。また、美術教育・音楽教育研究室や本学附属図書館にて指導案作成に必要な教科書の貸し出しも行っており、充実した環境を用意している。

[学科等レベル]

- 2-3 教育課程の体系性
- 2-4 ICTの活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての教育課程の体系性
- 2-5 キャップ制の設定状況
- 2-6 教育課程の充実・見直しの状況

- 2-3については、履修案内によって定め、役割分担を図り教育の基礎的理解から実践的演習までの体系性を保っている。
- 2-4については、本学で教育の基礎的理解に関する科目として「ICTを活用した教育理論と実践」を必修科目として開講し、情報通信技術を活用した教育理論を実践している。
- 2-5については、学生が各学期に事前学修や事後学修を十分に確保できるよう、各学部にて履修登録単位の上限や目安を設定している。教職課程については卒業要件単位との関係上、上限数の範囲外に位置づけているが、履修年次の目安を示し履修時期の分散を図っている。
- 2-6については、本学「授業評価アンケート」の結果を踏まえ、各担当教員と連携して教職課程の見直しを行っている。

[授業科目レベル]

- 2-7 個々の授業科目の到達目標の設定状況
- 2-8 シラバスの作成状況
- 2-9 アクティブ・ラーニングやICTの活用など新たな手法の導入状況
- 2-10 個々の授業科目の見直しの状況
- 2-11 教職実践演習及び教育実習等の実施状況

- 2-7については、法令に基づき教職課程カリキュラムが編成されている。また、教員の養成目標についてはシラバスの「到達目標・カリキュラム上の位置付け」に明記されている。
- 2-8については、「授業概要」「到達目標・カリキュラム上の位置付け」「授業計画・内容」等をシラバスに明確に記載している。
- 2-9については、授業科目の到達目標に応じ、グループワークやICTの具体的な内容をシラバスに記載して多様な学びをもたらす工夫をしている。
- 例：教職実践演習、ICTを活用した教育の理論と実践など。
- 2-10については、原則としてすべての授業で「授業評価アンケート」を行っており、各教員へ共有し、授業評価アンケートを踏まえて授業内容などの見直しを図っている。
- 2-11については、教職実践演習、教育実習の事前指導・事後指導を各部局にて、また、介護等体験の事前指導を教職支援センター主体の下で、適切に行っている

### 3. 学修成果の把握・可視化

[大学全体レベル]

#### 3-1 成績評価に関する全学的な基準の策定・公表の状況

3-1については、本学の「成績評価に関する申し合わせ」にて成績評価の基準を定め  
評定と授業科目の到達目標の達成水準との関係を明らかにしている。

[学科等レベル]

#### 3-2 成績評価に関する共通理解の構築

#### 3-3 教員の養成の目標の達成状況（学修成果）を明らかにするための情報の設定及び達成状況

3-2については、本学ウェブサイト「成績評価に関する申し合わせ」において評価基  
準を示し、教員に成績入力を依頼し周知をしている。

3-3については、毎年度、教員免許状取得状況・教職への就職状況を本学アートキャ  
リア・オフィスと連携し、状況確認をしている。

教職実践演習に向けた履修カルテについても各部局教務係と連携し、履修指導に活  
用している。

[授業科目レベル]

#### 3-4 成績評価の状況

3-4については、本学「成績評価に関する申し合わせ」の成績評価基準に則り、シラ  
バスにおいて具体的な到達目標・成績評価を明示しており、厳格に点数・評定に反映  
することができる。また、成績分布を抽出し教員の評価状況を分析している。

### 4. 教職員組織

[大学全体レベル]

[学科等レベル]

#### 4-1 教員の配置の状況

#### 4-2 教員の業績等

#### 4-3 職員の配置状況

#### 4-4 FD・SDの実施状況

- 4-1については、毎年度教職課程認定変更届の確認・申請をしており、法令に定められた必要専任教員数を配置している。
- 4-2については、担当授業科目に関する研究実績等の教職課程認定基準を踏まえ、教員を配置している。
- 4-3については、学生課学務係内に事務職員を配置している。主な業務内容は教職支援センターと各学部・研究科および教育実習・介護等体験の連絡調整、教員免許状の一括申請である。
- 4-4については、教職支援センターより全学の教職課程の運営・各部局への共有を行うため教職センター運営委員会が開催されており、FD・SDの実施について今後検討する予定である。

[授業科目レベル]

- 4-5 授業評価アンケートの実施状況

- 4-5については、学生課学務係で学期ごとに授業評価アンケートを実施し、各授業担当教員へ共有を行い、授業改善につなげている。

## 5. 情報公表

[大学全体レベル]

- 5-1 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第172条の2のうち関連部分（大学の基礎情報）、教育職員免許法施行規則第22条の6に定められた情報公表（教員養成計画）の状況
- 5-2 学修成果に関する情報公表の状況
- 5-3 教職課程の自己点検・評価に関する情報公表の状況

- 5-1および5-3については、本学ウェブサイト上に公開している。
- 5-2についても、免許状取得状況と就職状況を毎年度ウェブサイト上に公開している。

## 6. 教職指導（学生の受け入れ・学生支援）

[大学全体レベル]

[学科等レベル]

- 6-1 教職課程を履修する学生の確保に向けた取組の状況
- 6-2 学生に対する履修指導の実施状況
- 6-3 学生に対する進路指導の実施状況

- 6-1については、本学ウェブサイト、履修案内の中で取得できる教員免許状の明示をしている。
- 6-2については、本学各部署の教務係に専任職員を1名以上配置し、教職課程にかかる履修相談を行っている。
- 6-3については、本学にて設置しているアートキャリア・オフィスにて、専門的な職員によるキャリア支援や、教員採用にかかる求職情報の提供が行われている。

## 7. 関係機関等との連携

[大学全体レベル]

- 7-1 教育委員会や各学校法人との連携・交流等の状況
- 7-2 教育実習等を実施する学校との連携・協力の状況
- 7-3 学外の多様な人材の活用状況

- 7-1については、各都道府県教育委員会や東京地区教職課程研究連絡協議会と適切に連携を図り、教員採用説明会等を実施している。  
(学生課) 2025年度は岡山市教育委員会より個別説明会の開催案内があり、音楽学部邦楽科から1名の参加者があった。
- 7-2については、関係する実習校へ各教職センター運営委員や指導教員が毎年度授業見学等を行い、実習の適切な実施につなげている。
- 7-3については、教育実習や介護等体験の事前・事後指導および各教職科目で、教育委員会指導主事、特別支援学校教員、社会福祉施設職員および中学・高校の教員をゲストスピーカー等として招聘している。

【自己点検・評価結果のまとめ】

免許法施行規則および令和 7 年度実施分の大学機関別認証評価に基づき本学で実施した「自己点検」および「自己評価」の結果を公表するもの。

評価事項	評価	コメント
1. 理念・目的	適切である	教育理念・学習目標については、本学「入学者受入れの方針」「教育課程編成・実施の方針」「学位授与の方針」をウェブサイト上に公開している
2. 授業科目・教育課程の編成実施	適切である	授業科目・教育課程の編成については、教職支援センターを中心に行っている
3. 学習成果の把握・可視化	適切である	学習成果の把握・可視化については、「成績評価区分」を策定し、履修カルテを活用している
4. 教職員組織	適切である	教職員組織については、教職支援センターを中心に委員会、協議会を開催し検討・審査を行っている
5. 情報公開	おおむね適切である	情報公開については、毎年度本学ウェブサイト上に公開をしている
6. 教職指導（学生の受け入れ・学生支援）	適切である	教職指導については、教職支援センターを中心に入学から卒業までの履修指導を計画的に行われている
7. 関係機関等との連携	おおむね適切である	関係機関等との連携については、学生課学務係・各部局教務係を中心に実習校や教育委員会との連携を図り、教職課程の更なる充実を図ってゆく

評価：適切である・おおむね適切である・改善を要する

根拠となる資料・データ

資料	該当番号
各学部・研究科等教育研究情報 ・入学者受入れの方針（アドミッションポリシー） ・教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー） ・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） <a href="https://www.geidai.ac.jp/department">https://www.geidai.ac.jp/department</a>	1-1
教員の養成の状況についての情報 ・教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること ・教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績に関すること ・教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること ・卒業生の教員免許状の取得の状況に関すること ・卒業生の教員への就職の状況に関すること ・教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること ・教職課程の自己点検・評価 <a href="https://www.geidai.ac.jp/life/courses/ttc/condition">https://www.geidai.ac.jp/life/courses/ttc/condition</a>	5-1, 5-2 5-3
シラバス <a href="https://www.geidai.ac.jp/life/courses/syllabus">https://www.geidai.ac.jp/life/courses/syllabus</a>	1-2, 1-3 2-1, 2-3 2-7, 2-8 4-4
カリキュラム ・履修案内 <a href="https://www.geidai.ac.jp/life/courses/curriculum">https://www.geidai.ac.jp/life/courses/curriculum</a>	1-2, 1-3 2-1, 2-3 6-1
東京藝術大学附属図書館 <a href="https://www.lib.geidai.ac.jp/">https://www.lib.geidai.ac.jp/</a>	2-2
成績評価区分 ・成績登録マニュアル ・成績評価基準について ・成績入力の流れ <a href="https://www.geidai.ac.jp/life/cp/cpexam_results_manual">https://www.geidai.ac.jp/life/cp/cpexam_results_manual</a>	3-1, 3-2 3-4

教職課程	2-5, 2-11
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取得できる教員免許状の種類</li> <li>・ 教育実習</li> <li>・ 介護等体験</li> <li>・ 教員免許の一括申請</li> <li>・ 過去に取得した教員免許状に関するお問合せ（卒業生向け）</li> <li>・ 教員免許の個人申請</li> </ul> <a href="https://www.geidai.ac.jp/life/courses/ttc">https://www.geidai.ac.jp/life/courses/ttc</a>	4-2, 4-3 7-3
アートキャリア・オフィス <a href="https://csupport.geidai.ac.jp/">https://csupport.geidai.ac.jp/</a>	3-3, 6-3
芸術情報センターICT <a href="https://amc.geidai.ac.jp/ict/">https://amc.geidai.ac.jp/ict/</a>	2-4, 2-9
教員一覧 <a href="https://www.geidai.ac.jp/outline/staff">https://www.geidai.ac.jp/outline/staff</a>	4-1, 6-2
教育研究評議会 <a href="https://www.geidai.ac.jp/outline/organization/edu_council">https://www.geidai.ac.jp/outline/organization/edu_council</a>	6-2
教職センター <a href="https://la.geidai.ac.jp/">https://la.geidai.ac.jp/</a>	2-1, 2-2 2-3
組織図 <a href="https://www.geidai.ac.jp/outline/organization/chart">https://www.geidai.ac.jp/outline/organization/chart</a>	4-3
教育支援センター規則 <a href="https://www.geidai.ac.jp/kisoku_koukai/pdf/p20250327_538.pdf">https://www.geidai.ac.jp/kisoku_koukai/pdf/p20250327_538.pdf</a>	4-1, 4-2 4-3, 6-1 7-2